

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	軍艦島コンクリート系建築物の健全度調査小委員会	主 査 名：野口貴文 就任年月：2015 年 5 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：早川光敬 主 査 名：橘高光敬
設 置 期 間	2015 年 5 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>2014 年に国の史跡指定を受けた軍艦島(端島)に残存する極度に劣化したコンクリート造建築物の現在の劣化状態および構造安全性を評価するとともに、今後数 10 年間の劣化の進行を予測し、将来の劣化状態および構造安全性の評価を行い、今後の補修・補強・保存のための基礎資料を得る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度：劣化状態の調査手法の検討、構造安全性評価手法の検討 軍艦島コンクリート系建築物の劣化状態の調査、軍艦島コンクリート系建築物の構造安全性の解析・評価、「端島炭坑跡居住施設現況調査報告書(第一次版)」の作成</li> <li>・2 年度：軍艦島コンクリート系建築物の劣化状態の追加調査、軍艦島コンクリート系建築物の構造安全性の追加解析・評価、「端島炭坑跡居住施設現況調査報告書(最終版)」の作成</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：野口貴文(東京大学) 幹事：楠浩一(東京大学) 委員：今本啓一(東京理科大学)、濱崎仁(芝浦工業大学)、兼松学(東京理科大学)、山田義智(琉球大学)、寺西浩司(名城大学)、下澤和幸(日本建築総合試験所)、小山智幸(九州大学) 前田匡樹(東北大学)、向井智久(建築研究所)、岸本一蔵(近畿大学)、椀山健二(芝浦工大)、田沼毅彦(建築研究所)、迫田丈二(堀江建築工学研究所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>配筋調査 WG：軍艦島に建つコンクリート造建築物の配筋状態を調査する。 部材断面調査 WG：軍艦島に建つコンクリート造建築物の部材断面を調査する。</p>	
2016 年度予算	受託対応委員会のため予算措置無し	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	6 月・10 月・12 月に軍艦島に上陸して、残存する鉄筋コンクリート造建築物のほぼ全てに対して部材の劣化度の調査、構造耐力評価を行う数棟に対する配筋調査の調査結果を基に、構造耐力の簡易評価および耐用年数予測を実施できた。
委員会活動の問題点・課題	受託研究であり、他の委員会よりも予算は多いが、大人数での長崎・軍艦島調査の実施に必要な旅費・宿泊費を考えると、受託金額が少なすぎる。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。